

国語

名前

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント 08～10 を少しずつ進めていくこと。次回の国語授業で 08 の漢字テストを行います。	
② 知識プリント慣用句その1 を少しずつ進めていくこと (第2回G模試の範囲になります)。	
③ 第12回 宿題その一 [知らなかった言葉がでてきたら、意味までふくめて覚えましょう。]	
④ 第12回 宿題その二 [空欄の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑤ 第12回 宿題その三 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。]	
⑥ 第12回 宿題その四 [() の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑦ 第12回 授業でメモしきれなかった部分を、後から思い出して追記しておく。	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第12回 授業で解いた設問の復習 [記号選択] (授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいです。) [記述] (×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。)	

語彙動画

語彙に興味を持って親しんでもらうことを目的とした動画を紹介しています。動画を見るのが宿題というわけではないですが、動画で映像を見ることを通じて、語彙に親しみ、面白さに触れてもらったり、意味の理解を深めていったりしてほしいと思います。



語彙コント

語彙動画の視聴を習慣化して、楽しく語彙を増やしましょう。
毎朝1本ずつ見るとよいでしょう。

担当からの連絡

本日の教材では、問三に「変化」を説明させる記述を設けました。この問題を解く際に、まず「変化前」と「変化後」を考え、うえて、「きっかけ」を文章中から読み取ることが重要です(なお、「変化前」「変化後」については、どちらか片方さえ分かれば、もう片方は対比を使って類推することができます)。まずは自分が書きやすい人物の変化でかまわないので記述し、慣れていってほしいと思います。

国語

名前

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント 08~10 を少しずつ進めていくこと。次回の国語授業で 09 の漢字テストを行います。	
② 知識プリント慣用句その1 を少しずつ進めていくこと (第2回G模試の範囲になります)。	
③ 第13回 宿題その一 [知らなかった言葉がでてきたら、意味までふくめて覚えましょう。]	
④ 第13回 宿題その二 [空欄の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑤ 第13回 宿題その三 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。]	
⑥ 第13回 宿題その四 [() の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑦ 第13回 授業でメモしきれなかった部分を、後から思い出して追記しておく。	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第13回 授業で解いた設問の復習 [記号選択] (授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいです。) [記述] (×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。) [抜き出し] (文章中のどの部分が解答であったのか再度確認しましょう。)	

語彙動画

語彙に興味を持って親しんでもらうことを目的とした動画を紹介しています。動画を見ることが宿題というわけではないですが、動画で映像を見ることを通じて、語彙に親しみ、面白さに触れてもらったり、意味の理解を深めていったりしてほしいと思います。



語彙コント

語彙動画の視聴を習慣化して、楽しく語彙を増やしましょう。
毎朝1本ずつ見るとよいでしょう。

担当からの連絡

問一は、心情を表す表現と、その心情の原因となるできごとの両方を記述に盛り込むことができ、さらに、心情の原因を記述する際に対比を使うこともできるものでした。第10回の通信欄でも取り上げましたが、「男子⇄女子」「予想⇄結果」のように対比を意識して書けているでしょうか。
今回の話は短く、一回で完結する話ではありますが、その中にも変化がいくつか出てきます。「変化のメガネくん」を意識して文章を理解してほしいと考えています。

第2回G模試国語の範囲は、長文が実力問題、語彙（言葉の知識）が第10回から第15回の内容、漢字が漢字練習プリント05～07・08～10、知識プリントが慣用句1です。

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー（☆☆☆） 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント08～10を少しずつ進めていくこと。 次回の国語授業で10の漢字テストを行います。	
② 知識プリント慣用句1を少しずつ進めていくこと（第2回G模試の範囲になります）。 次回の国語授業で慣用句1の確認テストを行います。	
③ 第14回 宿題その一[知らなかった言葉がでてきたら、意味までふくめて覚えましょう。]	
④ 第14回 宿題その二[空欄の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑤ 第14回 宿題その三[解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。]	
⑥ 第14回 宿題その四[()の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑦ 第14回 授業でメモしきれなかった部分を、後から思い出して追記しておく。	

応用メニュー（☆☆） 余裕があればやるもの	日付
① 第14回 授業で解いた設問の復習 [記号選択]（授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいです。） [記述]（×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。）	

語彙動画

語彙に興味を持って親しんでもらうことを目的とした動画を紹介しています。動画を見るのが宿題というわけではないですが、動画で映像を見ることを通じて、語彙に親しみ、面白さに触れてもらったり、意味の理解を深めていったりしてほしいと思います。



語彙コント

語彙動画の視聴を習慣化して、楽しく語彙を増やしましょう。
毎朝1本ずつ見るとよいでしょう。

担当からの連絡

今回の教材ですが、「変化」が数多く出てきます。変化の「メガネくん」をしっかりと読み取るようにしてほしいと考えています。また、主人公の状況についても、まだはっきりとは話に出てきていませんが、暗に示されている場所があります。次回の授業が終わった後、クラスでの主人公の状況について、本日の文章に戻って確認してみることをおすすめします。

問二は、少し長めの傍線部について説明させる問題でした。傍線内に複数の行動が出てきており、それぞれが心情と結びついています。特に傍線後半の心情をどのように解釈するかが難しいところとなりますが、問一のまぎらわしいものも含まれる選択肢から正答を選ばせたところに伏線があり、それをふまえて読み取ることもできます。説明しにくい記述問題も増えてきますが、できれば積極的にチャレンジしてほしいところです。

国語

名前

第2回G模試国語の範囲は、長文が実力問題、語彙（言葉の知識）が第10回から第15回の内容、漢字が漢字練習プリント05～07・08～10、知識プリントが慣用句1です。

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー（☆☆☆） 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント11～14を少しずつ進めていくこと。次回の国語授業で11の漢字テストを行います。第2回G模試前に05～07・08～10を見返しましょう。	
② 知識プリント慣用句1を見直しておくこと（第2回G模試の範囲になります）。G模試後はことわざ1・反対語1を少しずつ進めていくこと（第3回G模試の範囲になります）。	
③ 第15回 宿題その一[知らなかった言葉がでてきたら、意味までふくめて覚えましょう。]	
④ 第15回 宿題その二[空欄の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑤ 第15回 宿題その三[解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。]	
⑥ 第15回 宿題その四[()の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑦ 第15回 授業でメモしきれなかった部分を、後から思い出して追記しておく。	

応用メニュー（☆☆） 余裕があればやるもの	日付
① 第15回 授業で解いた設問の復習 [記号選択]（授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいです。） [記述]（×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。）	

語彙動画

語彙に興味を持って親しんでもらうことを目的とした動画を紹介しています。動画を見るのが宿題というわけではないですが、動画で映像を見ることを通じて、語彙に親しみ、面白さに触れてもらったり、意味の理解を深めていったりしてほしいと思います。



語彙コント

語彙動画の視聴を習慣化して、楽しく語彙を増やしましょう。
毎朝1本ずつ見るとよいでしょう。

担当からの連絡

本日の文章では、「ゴリちゃん先生」の考え方や、昨年の先生との対比がわかる部分もありますし、現在主人公がクラスで置かれている状況についても読み取ることができます。そのような中で、主人公にどのような考えの変化がおとずれたのか、読み取ってみたいところです。
本日の問二でも、やや長めの傍線部を説明させています。前回同様、傍線内に複数の行動が出てきています。それぞれの行動でどのような気持ちになっているのかを考えてみて、記述に盛り込んでいってほしいと考えています。